

# 新 河川愛護モニターさんの意気込みを聞きました！

梯川を見て思ったこと、感じたことなど、色々な報告をしてもらいます。一年間よろしくお願いたします。

10年前から梯川の川辺をウォーキングし、自然の変化を楽しんでいます



平成19年度 梯川河川愛護モニター 堀 伸市さん

### ■普段梯川について感じていることや、今後望むことはありますか？

春は黄色の菜の花と白色の大根の花。夏は魚釣り。秋は赤の彼岸花と白色のススキの穂。冬は水鳥の楽園。四季折々の顔を持った梯川は、この地域の自然豊かな財産であります。ところが時としてゴミの不法投棄を見ますと非常に残念な気がいたします。

しかし、近年水質が良くなり橋の上から水面を見ますと川底まで見えることもあり、ホッとします。今後、このような自然豊かな梯川をこのままの状態を残していただきたい。そして、水辺での川とのふれあいができるような親水空間を増設し、川と触れ合い、そして川から学ぶことができる。そういう河川環境づくりをしていただきたいと感じております。

### ■河川愛護モニター活動内容の中で、特にやってみたいことは何ですか？

平成16年10月の台風23号の豪雨出水により、梯川の水位が急激に上昇し、この地域に生を受けて50余年、初めての避難勧告発令という経験をいたしました。幸い災害もなく済みしました。また昨年7月の豪雨出水より、現在、数箇所ですべて災害復旧工事が実施されており、周辺住民として安堵しています。今後地球温暖化による集中豪雨も予想されます。災害を未然に予防できるよう災害の原因となる河川施設、河川構造物の損傷・欠損がないか注意しながら観察を行い、自然豊かな梯川の変化も併せて報告したいと思っております。

## かけはし川について学ぶ「出前講座」を開催!!

7月12日(木)に小松第一小学校にて5年生の授業を利用して出前講座を行いました。今回の出前講座の内容は「かけはし川について」。かけはし川の成り立ちや洪水の歴史、河川環境などを学んでもらうとともに、金沢河川国道事務所の仕事を知ってもらいました。



7月12日 金沢河川国道事務所職員によるプレゼンテーション

また、11月3日(土)には出前講座で学習した成果を児童がグループごとに発表しました。これがかけはし川と児童との距離を近づけるきっかけになることを願っています。



11月3日 児童のグループ発表

### 出前講座ってなんだろう!?

金沢河川国道事務所(北陸地方整備局)が行っている事業や施策について、知っていたかどともに、みなさんのご意見やナマの声を聞かせていただく場として「出前講座」を始めました。出前講座は、金沢河川国道事務所(北陸地方整備局)職員の知識や経験を活かして、みなさんが持っている様々な興味・疑問・批判などに行き届かざる、わかりやすくお答えします。講座は、小中学生や高校生の総合学習にご活用いただけるものから、専門家などを対象としたものまで幅広く用意しました。



ふれあいプログラム まな VIVA <http://www.hrr.mlit.go.jp/tiiki/manaviva/index.html>

### お問い合わせ先

国土交通省金沢河川国道事務所調査第一課 TEL076-264-8800

小松出張所 TEL0761-23-4000

ホームページ <http://www.hrr.mlit.go.jp/kanazawa/>

広報「かけはしがわ」は、ホームページでもご覧いただけます。



本誌は古紙100%の再生紙を使用しています



環境にやさしい植物性大豆油インキを使用しています

環境にやさしい植物性大豆油インキを使用しています



# かけはしがわ



発行 国土交通省金沢河川国道事務所

## 梯川手づくり学習館一周年イベントが開催されました!



親子釣り教室



子供夏休み教室



親子ボート体験



おりがみ教室



ポンプ場見学

水の関所「梯川手づくり学習館」が昨年開館してから一年を迎えました。そこで8月26日(日)に一周年記念イベントを開催し、たくさんの親子に参加してもらいました。当日は天気もよく、親子ボート体験・子供夏休み教室・ポンプ場見学・親子釣り教室などのイベントを行い、来場者のみなさんに梯川に見て・触れて・学んでいただきました。

- ◆かけはし川について学ぶ「出前講座」を開催
- ◆かけはし川はきれいなのか? ~水生生物調査~
- ◆平成19年度 河川愛護モニター紹介
- ◆平成18年7月豪雨 被害箇所修復工事の経過

## アンケートにご協力いただきありがとうございました! ~小松市民レガッタ~

8月5日(日)に行われた小松市民レガッタ大会でパネル展示と「かけはしがわに関するアンケート」を行い、182名のみなさんから回答をいただきました。みなさんからの意見を参考にさせていただき今後も事業を進めていきたいと思っております。



レガッタレース 状況

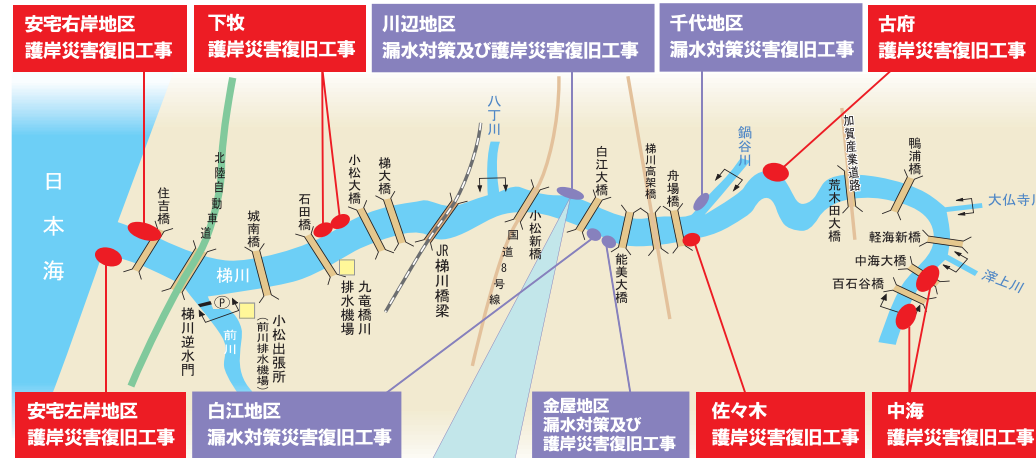


アンケート実施状況

# 平成18年7月豪雨災害復旧工事の進捗状況

平成19年2月から始まった「平成18年7月豪雨災害復旧工事」は以下の4地区が終了しました。（平成19年10月現在）

- 川辺地区漏水対策及び護岸災害復旧工事
- 白江地区漏水対策災害復旧工事
- 千代地区漏水対策災害復旧工事
- 金屋地区漏水対策及び護岸災害復旧工事



## 現場の声



株式会社 吉光組 (川辺地区施工業者) | 監理技術者 荒木 栄二 | 現場代理人 東 幸正

### 川辺地区 漏水対策及び護岸災害復旧工事



修復前(平成19年3月20日) | 修復後(平成19年7月20日)

### 緊急資材倉庫を町内会に寄贈しました

工事中、現場内に緊急資材倉庫を設置し資材等を保管していました。緊急資材倉庫の寄贈を地元町内会に提案したところ承諾をいただき、工事完了後に町内会長の立会のもと設置、寄贈しました。



# かけはし川はきれいなの！？～水生生物調査結果報告～

8月27日(月)に梯川の鴨浦橋(埴田水位観測所)で国府小学校の6年生の児童と水生生物調査を行いました。梯川の流速の計測や川に棲んでいる生物を調べて梯川が水のきれいさを調査しました。その結果、ヒラタカゲロウやナガレトビケラが発見され、梯川の上流部の水は「きれいな水(水質指標Ⅰ)」と判定されました。



## 川の中で生物採取



## 採取した生物を分類

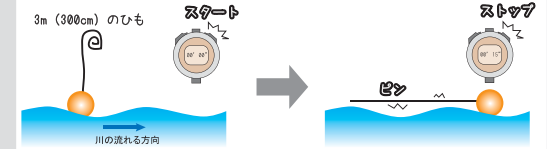


## 流れの速さの計測

- 流れの速さの計測方法
- 3mから5mのひもをつけた浮きを用意する。
  - 時計の秒針を見ながら、ひものはしを持って、水面近くから浮きを落とす。
  - ひもがピンと張るまでの時間を計り、1秒当たりの流れの速さを求める。



例えば・・・ (ひもの長さ) ÷ (ひもが張るまでの時間)  
 = 300cm ÷ 15秒 = 20cm/秒



## こんな生き物がいたよ！



## 水質階級と指標生物

	きれいな水 (水質階級Ⅰ)	少しきたない水 (水質階級Ⅱ)	きたない水 (水質階級Ⅲ)	たいへんきたない水 (水質階級Ⅳ)
特徴	水は透明で、川底まで見え、川底には石がたくさんあります。	周りには田んぼがあって、水がやや濁っているところがあります。	排水路が川につながっているところ。川底は泥っぽくなっています。	周りには工場も多く、人がたくさん住んでいるようなところ。川岸が壁のようなコンクリートや鉄でつくられたりします。
指標生物	カワゲラ、ヒラタカゲロウ、ナガレトビケラ、ヤマトビケラ、ヘビトンボ、フユ、アマカ、サワガニ、ウズムシ	コガタシマトビケラ、ヒラタドロシ、ゲンシボタル、コオニヤンマ、スジエビ、カワニナ	ミズカマキリ、タイコウチ、ミズムシ、タニシ、ヒル	セスジスリカ、チョウバエ、アメリカザリガニ、サカマキガイ、エラミズ

# 梯川右岸地区改修計画のお知らせ ～梯川の川幅を広げるため文田川を北側に移動します～

天神町・梯町地区では西川・文田川および小松大橋架け替え工事を行っています。現在、県道小松・根上線の下に新たな文田川を通すためのボックス工事をを行うために、一時的に迂回路を設置しました。ご通行の皆様には県道の切り替えに伴いご不便をおかけしました。3月に田植えが始まるまでには完成させる予定です。今後ともご理解ご協力をお願いいたします。



県道の下に文田川の水を流すためのボックスコンクリート



ボックスコンクリートを埋める作業



平成19年9月10日の迂回路状況



平成19年11月8日の迂回路状況



平成20年3月末(予定)